

兵庫西流域下水汚泥広域処理場の溶融炉運転管理における排ガス濃度
データ改ざんに対する再発防止策の概要について（ご報告）

当社が公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センターより運転管理を受託している、兵庫西流域下水汚泥広域処理場の溶融炉 2 基におきまして、運転日報の排ガス濃度データを一部改ざんしていたことが判明し、2013年10月23日にその内容を公表いたしました。

このたび、再発防止に向けた取り組みにつきまして、当社より公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センターに報告書を提出しましたので、その内容を下記の通りご報告いたします。

当社といたしましては、今回の事案を深く反省し、当社グループ丸となって再発防止に取り組み、信頼の回復に向けて努力してまいります。

記

再発防止策	具体的な取り組み状況
<p>(1) 組織管理面</p> <p>【当社全般に関わる組織管理】</p> <p>①環境保全と法令、社会のルール規範、当社の企業倫理綱領等を遵守すること（コンプライアンス）を最優先するとの経営方針を更に徹底・浸透させ、それに基づいた指示、業務遂行が的確になされるよう、全従業員を対象とした教育を実施</p>	<p>①全従業員・階層（職位、社員等級）別にコンプライアンス教育を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弁護士による法令遵守に関する講話の実施（2013年12月9日） 対象：経営幹部（当社役員、理事及びライン部長、神鋼環境メンテナンス株式会社役員） ・法令遵守に関するパソコン/ネットワークを利用した教育、理解度テスト（e-ラーニング）の定期的実施（2回/年） 対象：当社役員・従業員 ・役職、階層別教育等の強化 役職、経験年数等により階層を設定し、役職、階層別教育の実施による法令遵守及びその重要性の理解向上 対象：新入社員、新任管理職、室長、ライン部長、役員

<p>②取締役会の諮問機関として環境監視委員会を新たに設置</p> <p>環境管理の専門部門による定期的監視とパトロールを実施、その結果を環境監視委員会に報告</p>	<p>②環境監視委員会の設置・運営 環境監視委員会を設置（2013年12月1日）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 環境監視委員会の開催：2回/年以上 <ul style="list-style-type: none"> - 各事業所での環境管理面における法令等の遵守状況 - 各事業所の操業支援状況 • 部門別連絡会の開催：毎月 <ul style="list-style-type: none"> - 各事業所での環境管理面の問題、課題の抽出及び、対応状況確認 - 各事業所の操業支援事項等の把握と実施状況確認 - 環境パトロールの実施（当該事業所は、2回/年以上） - 各事業所から提出される法令等の遵守状況に関する自主点検報告書（1回/半期）の確認
<p>【当該事業所に関わる組織管理】</p> <p>③本社及び事業所の連携及び一体運営を強化するための操業支援技術者の事業所への常駐</p>	<p>③設備・操業面の管理・サポート強化を狙いとした組織強化（2014年1月1日）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 当社技術系管理職の当該事業所常駐（2013年9月～）による運転状況の確認及び操業改善（将来的には操業状況・効果を確認した上で、事業所常駐から巡回へ移行） • 本社技術部門の巡回モニタリングによる操業確認、技術標準の遵守状況等の確認 • 月例会議への本社技術部門の参画による操業状況等の確認
<p>④遠隔監視用パソコンによる運転状況の推移を示すデータ（トレンドデータ）のチェックを含む各種モニタリングの実施</p>	<p>④本社技術部門による日報チェック、遠隔監視用パソコンによるトレンドデータチェック等を実施し、運転状況を監視・把握</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本社及び事業所における運転データのダブルチェック及び異常時の対応検討
<p>(2) 日報データ 日報データの充実・改善</p>	<p>日報データ他の提出資料の見直しを順次実施</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日報データには従来に加え、「トレンドデータ」を追加して提出

<p>(3) 設備管理面 運転日報データ修正機能の廃止</p>	<p>遠隔監視用パソコン機能の改善実施</p> <ul style="list-style-type: none"> • 運転日報データ：データ一覧表の修正機能廃止 • 運転日報、トレンドデータに係るデータ保管手順の明確化
<p>(4) 安定操業のため運転管理、保守点検を強化 ①溶融処理する「汚泥、し渣等」の受け入れ、供給の運転管理を強化しながら、設備改善の提案、協議を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 汚泥、し渣等の受け入れ方法見直しと投入管理の強化 • 安定操業へ向け、上記に関わる試験、調整の実施等の改善提案、協議を実施 <ul style="list-style-type: none"> *汚泥性状の定期的相互確認 *し渣に関する供給量・比率の定期的相互確認 *汚泥供給安定化に向けた設備改善 *し渣のピット容量確保
<p>②溶融炉の運転マニュアルの見直しと定期的教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 排ガス性状値に異常を測定した場合など、設備の異常発生時の運転対応方法を見直し、運転員を定期的に教育
<p>③定期的な設備予防保全の徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 溶融炉は、1 炉につき 2 回/年の頻度で設備全体の運転を停止し、定期点検整備を行い、予防保全を徹底

以上

[本件に関する問い合わせ先]

◆株式会社神鋼環境ソリューション 総務部

TEL：078-232-8018、FAX：078-232-8051

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1丁目4番78号